

おんじゆく

第210号

町勢特集号



はじめに

一九八十年の最後をかざる「町勢特集号」を発行します。この特集号は毎年一回その年の町政のあゆみを数字を中心に編集しみなさんにお知らせするものです。資料をよせられた関係機関のみなさんにお礼申しあげます。



激動する社会情勢、そして目まぐるしく変動する地域社会のなかにあつて、今後どのようにしたら町民の生活が豊かになり、住民の福祉向上が期せられるであろうか。このことは、ひとり行政を担当するものに限らず、皆さんも等しく常に考えておられることでありましょう。

近年、御宿町のあゆみをふりかえってみると、40年代前半まで人口減が続きましたが、その後はほ

ぼ横ばいで推移してきております。しかし、年令別人口構成の推移をみると高齢化の進行がきわめて顕著に表われています。

そこで老人に対する施策を充実させることと若年層の定着を図ることが重要課題となつてきております。

若年層の定着を図ることについては、わが町のみならず、過疎化の傾向をもつ各市町村共通の悩みであり、その対策に苦慮するところですが、就労の場が確保されなければ根本的解決につながりません。御宿町の立地条件は用地、用水、輸送条件等に恵まれず、工業については従来よりふるわず、長期的には激減しており、産業別に

就業者数の推移をみても、農業の就業者数の激減。漁業も又高級漁

介類の需要は増加の傾向にあるものの、労働力減少のため生産は停滞や購買力の流出のため伸びみやみ、観光客が夏のみ集中するため、これを発展に生かすきれない問題をかかえており、定着人口の増加は産業振興にかかせない条件ではありますが、現状はきわめて厳しいものがあります。

そこで私共は従来から計画されております、A・B地区の開発、御宿・大原観光開発事業の促進は是非必要で、当面の命題である定着人口の増加、通年観光への脱皮、じん芥処理場の建設問題、水道事業の運営等すべてこの開発事業推進の成否にあると考えますので全力投球で対処しております。

今後、私も町の現状を更に分析研究し、足らざるを補ない至らざるを反省して、町民総参加による叡智を結集し、皆様の意とするところを速やかに、そして行政の上に可能な限り反映するよう努力してまいりたいと念願しております。

何卒、皆様のご理解あるご声援をお願い致します。

御宿町長

高梨 秀治

行政

地域の特性を生かし 町民主体の町づくり

御宿町は地理的にみて、繁栄の要素を多くもつていますが、これも放つておいて自然発生的に繁栄するものではなく、将来を見通した行政を実施することが必要です。そのために、町民の正しい多数の意見に耳をかたむけ、すべて話し合いのなかから理解と納得をもとめて、血のかよった温い行政をすすめていきます。

※住民相談室をご利用ください。相談日は毎月第一土曜日の午前中です。

普段町政についての疑問やご不満ご要望のある方が、気軽に町と相談できるようになっています。



	3月	2月	1月	55年のあゆみ
5日	24日 22日 21日 15日	7日 25日 16日 11日	30日 28日 15日 7日 4日 1日	
町内小学校入学式 保育所卒園式	御宿中学校卒業式 布施小学校卒業式 岩和田小学校卒業式 御宿小学校卒業式	第一回臨時議会 第二回臨時議会 町議会議員研修会	成人祝賀マラソン大会 第一回臨時議会 海と山の子交流会 御中一年生(百九名) 野沢温泉村へ出発	元日歩行会 新年祝賀式 消防団出初式 成人式

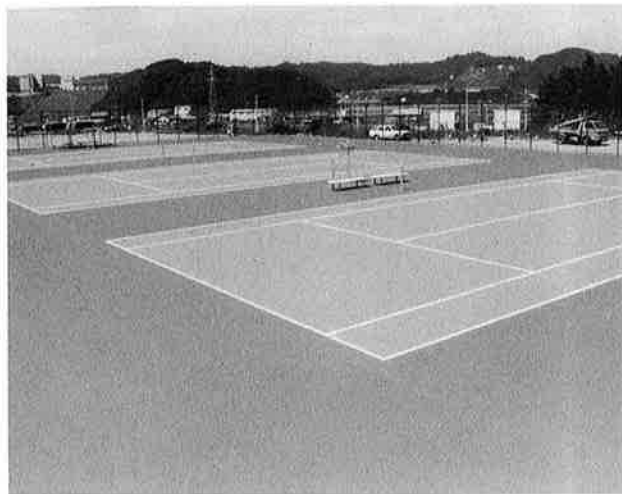
財政

限られた財源の有効利用

国の財政はここ数年続けられてきた景気刺激対策により公共投資の大幅な拡大等が行われ一応景気の回復が進んだものの巨額の公債

に依存する結果となり、経済・金融政策の円滑な運営に支障が生じているとの現状認識下、今後公債依存体質から早期に脱却しその対応力を回復し将来に向けての明るい展望を切り開いていくことが当面の緊急課題とされています。

このような厳しい財政状況は地方財政についても同一のことで、今後歳入面においては、住民負担の適正合理化に配慮しつつ徹底した見直しを行うことにより地方財政の確保を図り公債発行額を縮減することに努める。



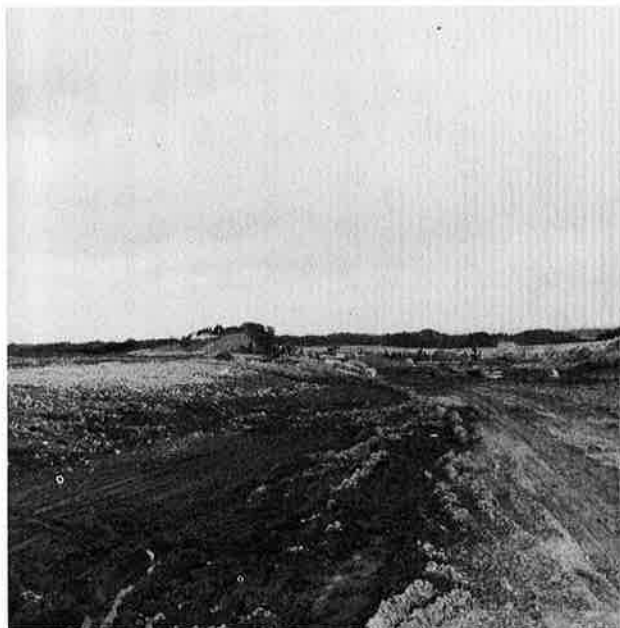
九月にオープンしたテニスコート

歳出面においては、経費全般についての徹底した節減合理化を計り住民の福祉の充実、住民生活に直結した生活関連施設整備を図るため限られた財源の重点的配分と経費支出の効率化に徹し節度ある財政運営に努める。

総合開発

自然との調和 規律ある開発

自然景観にめぐまれた御宿町は昭和初期から静かな保養地でありましたが、現代社会の急激な流れは、あらゆる分野で町環境を変



着々と工事の進むA地区開発

え、その静かな保養地も今や自然と開発をどのように調和させるかが大きな課題となっています。

現在企業庁による夷隅開発事業がすすめられています。このA・B地区の建設計画も着手して八年目を迎えました。現在A地区の建設事業は順調にすすんでいます。B地区建設事業は、用地買収が難行していましたが、あと数パーセントというところまで来ました。

ぜひとも、この町最大の開発事業の達成に、みなさんのご協力をお願いいたします。

12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
22日	3日	10日 10日 1日	26日 15日 14日	1日 24日	30日 5日 4日	22日 16日	25日	7日
定例議会	文化祭	ト 体育祭(御宿小グラウンド) 国勢調査	定例議会 敬老会 テニスコート竣工式	水泳大会 津波避難訓練(八軒町)	野沢温泉村中学来町 海と山の交流会 グランド竣工式 消防大会	衆議院議員総選挙 参議院議員通常選挙 定例議会	海開き	御宿中学校入学式 保育所入所式 新久保トンネル開通

水道

水道加入に 明るさ

五十三年十月十五日から給水を始め、本格的な営業が始まりました。

上水道事業は、地域住民に直結するサービスを提供し、福祉の向上に大きな役割を果たしていますが更に企業の経済性を増進するよう常にきびしい経営感覚で臨む基本的な考えが必要です。

ここで、水道事業の工事の経過と現状の営業成績と今後の課題を記して、水道事業に対する町民のみなさんのご理解とご協力をおねがいします。

〈水道事業の経過〉

46・12 夷隅地区開発事業計画、水資源開発決定

47年・12 御宿町水道事業の設置

に関する条例を議決

48・3 水道事業経営について県

- 49・1 水道準備室設置
- 50・1 水道加入者募集のため、各部落説明会をひらく
- 50・2 水道事業建設委員会発足
- 51・2 第一期本管工事
- 51・6 御宿ダム定礎式行方
- 51・9 第二期本管工事
- 52・1 夷隅地区開発事業見直しによって、給水人口二二五〇〇人、一日最大給水量五九八五トン、ダム貯水量六一万トンに変更される

- 53・2 町指定水道工事店九店指定
- 53・3 各加入者の給水装置工事着手
- 53・5 御宿ダム貯水開始
- 53・6 浄水場試運転開始
- 53・7 試験通水開始
- 53・10 給水開始

- 〈現在の営業成績〉
- 九月末給水区域内世帯数二〇〇九・一（加入率五一・一％）
- 使用水量一五八二七トン
- 給水収益二四〇万九三〇〇円（内メーター使用量九万一九八〇円）
- 十月末使用水量累計二二万九八五二トン。（予算の見込量一四万

- 五七〇四トン）
- 十月末給水収益一五三万一八五五円（予算の見込額一五五八万四〇〇〇円）
- 月別加入状況
- 四月 一七戸
- 六月 二戸
- 七月 二二戸
- 八月 二二戸（別にマンション一〇二戸加入）
- 九月 九戸
- 十月 二戸（別にマンション五戸）
- 一月平均使用量（十月末、一三・九トン）
- 一月一日平均使用量（十月末、一八・一日平均使用量（十月末、



きれいな肌、きれいな水

二二四リットル）
五十四年度
決算数字
三月末給水戸数九六〇戸
五十四年度使用水量一四万八八五七トン
一人一日平均使用量一〇六リットル
給水収益一、九〇四万三二

五七〇四トン）

三〇円

十月末給水収益一五三万一八五五円（予算の見込額一五五八万四〇〇〇円）

五十四年度赤字額四六一七万九一九二円。

〈今後の課題〉

多額の赤字を解消するとともによりよいサービスの提供によって地域の福祉向上のためにつぎのような課題を解決していく必要があります。

- 一、A・B地区、とりわけB地区の人口定住（七四〇〇人予定）の早期実現。
- 二、農村地域への簡易水道設置
- 三、給水区域内の開発の進む地域への給水管の布設と給水区域内未加入者の加入の促進。

観光

通年型観光をめざして

人が旅をして今度の旅は本当によい旅であったと思うものは一体何なのでしよう。それは、素晴らしい自然、充実した観光施設、そしてその土地の人情にふれることではないでしょうか。この自然、文化・人・との出会いこそ旅の心を満足させる大きな要素だと思います。

〈めぐまれた自然〉

当町は、千葉県のほぼ中央部に位置し、東・西・北、と三方を山に囲まれ、南は青い太平洋に臨んでいます。よく晴れた日は、網代の海の青さとゆるやかな弧を描いて続く海岸線の砂浜の白さがキラキラと輝く太陽の下に素晴らしい景観を呈します。三方を緑の山に囲まれた扇状の地に、町は開け、湾を挟むように突出している東西の半島は、原始境を想わせる海蝕



沢山の人が出でにぎわう御宿海岸

海岸になっています。この景観は、白い砂浜とともに主たる観光資源です。当町には、他に二つの大きな文化観光資源があります。それは、あの「メキシコ塔」と「月の沙漠」です。三十七十年の歴史を誇り、蒼い空に真直ぐに伸びる白い塔は、先人たちの人間愛に満ちた尊い行為を象徴しています。それともう一つは、半世紀以上にわたって、大人・子どもに歌い継がれている童謡の名曲「月の沙漠」がこの御宿の砂浜から生まれたということです。私たちは、この二つ

の遺産を大切にし、誇りとし、後世に伝えて行かなければなりません。他にも多くの観光資源があると思われませんが、その発掘と保護に努め、新しい価値の発見をして行きたいと思えます。このような過程を通じて、住民の意識のつながりが図られ町の環境づくりがなされて行くのではないかと思います。

〔観光施設の充実化を〕

五十五年夏期の観光客は約九十万五千人でした。冷夏の影響で例年に比ベ十数パーセントの減です。

しかし年間観光客に対する夏季観光客のパーセンテージは、あまり変化なく約八十数パーセントにとどまっています。観光地とはきれいなところという言葉を大切にして各施設の十分な管理をし、きかない場所の原因であるゴミとの戦いを怠ってはなりません。

既存の観光施設の充実化を図り地元主導のもとに新たな開発へと目を向けて行かなくてはなりません。当町には、二つの大きな開発計画があります。それは、県企業庁と西武不動産による夷隅地区開発事業（B地区）と県観光公社による小浦地先観光開発計画です。低成長経済の状況下において大変な事ですが、住民利益という大前提のもと、この二大プロジェクトの一日でも早い着工が望まれます。

〔心のふれ合いを求めて〕

昭和三十年代～四十年代にわたる日本経済の急成長は、人の心の中に経済・物資・両面への価値観を大きく植えつけたと同時に心の豊かさを逆に奪い去ったように見えます。だが今、急速に「奪われた心」はとり戻され、回復されつつあるようです。日本人は、ショックに対して回復性の速い民族で

あると同時に文化の心を大切にする民族であると言われていきます。ここで「御宿の顔」である海岸売店についてちよつと触れてみます。海岸売店は経済の急成長下における「儲る商売」から、低成長を機軸とする安定成長経済下における「儲りにくい商売」へと変身しようとしています。この認識なくして十年前の夢を追うならば多くの弊害が出て来るように思われます。もともと本場の海岸売店の姿は、観光のための売店であつて

利益本位のための売店ではないのです。売店関係者の方々も種々な面から弊害を取り除くため、その打開策を考えているようです。人が旅をして一番心に残るものは旅先での地域住民との心のふれあいです。夏一季型観光を脱しきれない現状において「顔」だけを見て御宿という町を判断する人は非常に多いと言つても過言ではありません。「御宿の顔」は少しでもきれいにしたいものです。



天候に左右され不調だったプール

〔町営プール 冷夏長雨にたたられ 入場者数47%の減〕

本年度は未曾有の冷夏長雨で、全般的に昨年度を下回り、入場者

数で四十七%の減でした。入場者数の内訳は、大人五十%、子供四十三%、学割四十八%とそれぞれ大巾の減となり、七・八月の二か月を月別にみると、七月は九%、

建設

住みよい暮らしの環境を整えるために



すすむ道路改良

道路や漁港あるいは災害防止の為に河川や排水の整備は毎年順次実施してきましたが、町民のみならずからの要望が多く昭和五十五年建設事業は総額約三億九千五百万円で実施してきました。

主な事業のうち補助事業は今年度から五ヶ年計画で実施する須賀実谷線道路改良九千三百万円来年度完了の小池高山田線舗装一千五

都市といわず農山漁村といわず地域間の物心両面の交流を確保するうえで欠くことのできない、最も基幹的な施設である

万円の改良三千万円で残すは防波堤消波工だけとなり、今後は御宿漁港の整備に力を入れていきます。

一般土木事業は昨年に引き続き毎日の生活関連施設である路地の改良や舗装及び排水整備等七千九十一万円で約四十ヶ所を実施し、住み良い環境づくりを目ざして進んでいます。

今後は、町の三ヶ年計画に添って住民の要望に出来る限り添うよう努めていきます。



昭和五十五年度経済成長率は、四・八パーセントが確実視され、五十六年度経済成長率は、五・三パーセント程度であろうと予測されています。このような低成長経済下において中小企業に関する経営環境は全くきびしいものがあります。消費者ニーズの多様化、大型店の進出、流通の合理化などはそのきびしさに拍車をかけているように見えます。このような情勢下において、商業の近代化対策が急がれています。より一層の商業振興のため商店街の環境変化をよく認識すると同時に、商店街機能の見直しが必要で、近代化を推進するにあたっては、経営資金・改善資金・設備近代化資金など融資資金調達のあつせんによる経済対策が行われています。

近年、目に見えて消費者意識の

八月は五十八%の減でした。この数値を見てもわかる通り、八月へ入つての気温低下、天候の不順が大きな起因となっています。

※プール利用上の注意

- 付き添いのない子どもは入場できません。(小学校三年生以下の子どもは大人の付き添いが必要)
- 大人用プールでの注意 付き添

いのいるいのかかわらず、泳ぎの未熟な方は入る事はできません。

- 持病をお持ちの方や、医師から水泳を止められている方は入る事はできません。
- その他、水中メガネ・サンオイルを付けての遊泳はできません。

商業

業界の振興と消費者教育

向上がはかられ、町村の末端まで少しづつ浸透して来ているように思われます。今年度、消費者の利益の保護を目的とした、消費生活用品安全法・家庭用品表示法における立入検査に関する県の町への権限の委譲の件などは、まさにその事をよく表わしています。

また本町には、物価の動向や消費性向を知るために県物価モニターや消費生活モニターが設置されています。月々のモニターの報告は、物価対策などの生きた資料となるのです。

消費者意識の向上のため、消費生活展や講習会を開き、確かな商品を安心して購入できるような種々な対策を考えています。



利用度の高まる金融機関

漁業

漁場に適した環境づくり

近年全国的に展開されてる「とる漁業からつくる漁業へ」の転換がさげばれている中で御宿地域の漁場環境では養殖漁業は適地では



豊漁で活気づく岩和田漁港

ないといわれています。このような環境で、つくる漁業への転換は従来より依存の高い磯根資源の確保が最大のポイントであると思われまます。魚貝類の人工放流又は天然稚魚を守るための人工的に藻場、魚礁を造成し魚の住みやすい環境づくりをしてゆかなければなりません。町では稚貝の放流などには積極的に取り組んでゆき、又現在勝浦市に建設中である具栽培漁業センターの利用により中高級魚を放流することにより資源の確保に力を注ぐ方針です。

漁業施設の整備は、水産物の消費動向は、中高級魚貝類に対する需要が強く、より新鮮なものをどのようにして供給するかを考えなければなりません。これに対応するため本年度、五十五年度に岩和田漁協で冷凍冷蔵庫を総工費五千三百二十万円をもって建設しました。漁船の整備においては、漁業経営のうちで最も大きなウエイトを占めている燃料の問題があります。価格の高くなる一方と少ない資源の燃料をむだなく利用することが今後の経営改善の中心となるのではないのでしょうか。これらに先がけて、よい漁場にむだなく早くつくことをねらいとして、五十五年度に近隣の地域では類の見られないほとんどの漁船に電波無線器機を設置をしました。

漁港の整備計画は、利用しやすい漁港を目指して、御宿漁港の船場場・防波堤の高上・休けい岸壁・荷さばき所の改修を重点的に計画しています。

これからは生活雑排水の処理などは漁場環境を大きく左右するものと思われまますので漁村の環境整備などにも特に目を向けて新しい町づくりを進めてゆかなければなりません。

農業

一層厳しい水田利用再編対策

戦後まれに見る冷夏に見舞われた今年の稲作は、本県で作況指数



後継者育成など残されている課題は多い

九七という状況でした。御宿町に於いては、作付面積八六・三ha(四一%)と増加してきたコシヒカリを中心に被害が目立ち、米の予約限度数量八四九九・五俵に対し出荷数量一九七俵減の八三〇二・七に終わりました。

昭和五十五年度の農業関係事業の主なものは、上布地区団体営圃場整備事業の第一期小幡地区工事が、三ha、二、一五〇万円、水稻航空防除補助事業が、一六五ha二八六万円、水田利用再編町単

奨励補助事業(一〇アール当り転作で二万円、管理転作八千円)が四一・六ha、三六七万円などの事業が行なわれています。

米の生産調整については、稲作農家の協力により目標面積三七・二haに対し実施面積四一・六ha、一・二%の達成率でした。昭和五十六年度からは、水田利用再編対策の四年目第二期対策に入り、御宿町へは目標面積四八・三ha(二〇%増)限度数量八・一八〇俵(四%減)の割当がありました。更にこの目標面積の大幅増加に加えて、奨励金が一〇アール当り一率五、〇〇〇円引き下げられました。昭和五十三年に山林へ転用した水田の期限切れなどもあり、一層厳

しくなる模様です。

現在のようには、管理転作一辺等ではなく、集落内の話し合いによる水田の基盤整備、乾田化を行い大豆、飼料作物など特定作物への転作が望まれます。

又農家人口は、八〇人減少し、一九四一人になりました。農家戸数は、二戸減少し四三〇戸になりました。農家数の減少はかなり鈍化しましたが、今後もこの傾向は続くものと思われれます。



よりよい教育 の環境づくり

▼義務教育施設 豊かな人間性と健全な心身を育成する学校教育の充実をめざして小・中学校の施設整備を着々と進めておりますが、本年度は更に、よりよい教育環境の整備充実につとめます。

▼社会教育施設 心のかよう町づくりと生涯にわたって生きがいの



健全な心身を育成

ある生活の実現をめざして、公民館事業は盛んに活動しています。体力づくりの場である、野球場

・テニスコ場も一段と整備されました。町民のみならず、大いにご利用ください。



自然と子どもたち

「児童はよい環境の中で育てられる」と児童憲章にうたわれていますが、乳幼児期は心身が著しく発達する時であると共に環境からの影響によって人間の性格の基礎が築かれるとされています。

さて子どもは食事・睡眠・排便などの生活時間の他は遊びであります。この遊びの上で最も大切なものが子どもをとりまく環境で

あることはいうまでもありません。一口に環境といいますが、この種類はいろいろあります。その中で自然環境つまり「自然と子ども」について（保育所での園外保育）書いてみたいと思います。

太陽と水、広がる大地を子ども

らは駆けていく、花に囲まれ草むらにすわる、砂山を駆け登ったり、スノーボードであそぶ、そして裸で飛び込む夏の海、赤や黄色の落ち葉ひろい、大きなおいをほったよろこび、誰もほほえむ実りの秋。子どもらはこんな自然環境

第一に野山・海辺・などで伸びのびと遊ぶ中に健康の増進がみられます。

第二に大自然の中で木の実ひろい・虫追い・浜辺で貝ひろい・など直接自然界の姿にふれることにより科学的の芽ばえを養います。

第三に児童遊園や親子えんそくに行く公共施設の使い方交通のきまり、集団行動のしかたなどを身



よりよい環境で保育

につけていきます。

第四に保育者や友だちとの親睦

理解を深める場として役立ちます

第五に園外保育をすることに

りお話・絵・うたなどいろいろと

生活を豊かに展開させます。

これらの目的をもとに、私達保

育者は年間の計画をたて、保育の

成果をあげております。

春——園のまわりを散歩する

● つばめの観察に行く

● 緑の中で遊ぶ

● 時計屋さんの見学

夏——交通安全指導をかねて園

のまわり町の様子を知る

秋——海辺であそぶ

● 親子えんそく

● いもほりえんそく

冬——木の実や落ち葉ひろい

● 児童遊園であそぶ

● 春をさがしにおわかれえ

んそくにいく

「百聞は一見にしかず」という言

葉がありますが、園外保育はさま

ざまな経験と意義をもって、自然

とのふれあいを豊かにし、海に山

に野原に親しみを深めていくので

す、そしてよりよい環境の中で、

子どもたちを育ててあげたいも

です。

社会福祉

地域ぐるみ福祉の推進を！

福祉の範囲は限りなく広く、多

種多様の中にあります。福祉を大別して見ると行政によ

る福祉と住民による福祉に分けら

れ、いいかえれば与えられる福祉と与える福祉になります。経済の成長、そして安定の半面、日常生活のややもすれば不安の中にあるものもあります、老人も若人も障害のある人も健康な人も、地域に住むみんなが一体となりボランティア精神に溢れた心豊かな町づくりをしようとするところに、地域ぐるみ福祉の必要性があります。

今迄の福祉は金や物が満たされれば十分の幸せと考えた時代もありましたが、これからの福祉は金や物の福祉サービスに合わせて心の福祉サービスを考える必要です。それは、まず地域の人間同志で温かい心の交流を考えることが必要です。福祉は自分だけの満足ではなりません。自分の幸せが他人の幸せであり他人の幸せが自分の幸せであるようお互いに努力し、調和してゆくところに地域ぐるみの意味があります。これ等を推進してゆく担い手が地域に住む一人一人でありそれぞれの立場において心の福祉サービスを考えなければならぬと思います。それがボランティア



温かい心の交流(敬老会)

活動であり、又奉仕活動ともよんでおります。その名の通りボランティアは自分の持っている技術や労力を自発的に代償を求めないで多くの人々のしあわせのためにつくすことです。例えば電車・バスの中でお年寄りや身体の不自由な人に席をゆづったり独り暮らし老人にあたたかい言葉をかけたり、道路をきれいにして日常自然な気持ちで行う行為のつなぎ合わせ、地域社会の為に役立てようとしその行動を移してゆくことであります。

国民健康保険

正しい受診で明日への健康

あなたは、医者や病院を転々と渡り歩いたり、むやみに薬を求めたりしたことはありませんか。経過が思わしくないと、すぐお医者さんをかえる人がいますが、そのたびに検査や治療・薬剤などが重複して、かえって病状が悪化する場合があります。それは誤った受診の仕方ですし、そのうえみんなで負担している保険税が無駄に使われることにもなります。

衛生保険

健康で明るくらしを

町民のみなさんに、健康で明るくらしをしていただくよう、住民生活に密着した各種施策を推進しています。

病気が早期発見・早期治療をすることが大切です。成人病対策として、胃がん・婦人科検診を実施しています。また乳幼児や児童生徒の健康管理のために、一才六か月検診・各種予防注射も行っています。



早期発見・早期治療をめざして

また、夜間・休日の診療や往診は、医療費が高額となるばかりでなく、忙しいお医者さんにも、迷惑をかけてしまうことにもなりま

すので、急患の場合以外ではできるだけ避けるようにしてください。みんなで正しい受診に努めましょう。

ゴミ処理

お互にルールを守って住みよい環境を

ゴミ収集は、生ゴミが週二回、危険物を一回収集しています。最近生ゴミと危険物を区別しないで出す人が、非常に多く見受けられます。収集日でない日に出し

ます。明るくらしのために、健康管理をしましょう。

〈休・祭日診療テレホンサービスを実施しています。〉

現在、夷隅郡市医師会のご協力により、休日在宅医制をとり、日曜・祭日の急患に備えています。休日診療テレホンサービスセンターへもしものときには、☎〇四七〇六一三〇四一一

●診療時間は午前九時～午後五時までです。

●患者の搬送は自家用車又はタクシーを利用して下さい。



このゴミの中にもリサイクルできるものが沢山あります。

ますと、集積場所となっているお宅では大変迷惑を受けます。ゴミは、収集日の朝、水をよく切って出して下さい。

家を壊したり、大掃除をして出たトタン・冷蔵庫・テレビ等を焼却場へ持込まれる方が多く見受けられます。これらは貴重な資源であり、じゅうぶん再利用できるものがたくさんあります。省エネルギーのさげばれている昨今、大切

な資源を有効に還元利用したいものです。

焼却場の埋立地は数年後に使用不可能となります。町民一人一人のわずかな心づかいで使用年数を伸す事もできます。これらのルールを守る事により、収集効率・環境美化はむろん、町民サービスの向上も図れます。

お互いルールを守り、住みよい環境づくりに励みたいものです。



かけがえのない生命 財産を守るために

我国では、毎日二百件もの火災や山崩れなどの災害があり、尊い生命や財産が失われています。町では、災害から皆さんの生命財産を守るために、災害対策の充実をはかっています。



一瞬をあらそう初期消火

現在町には、八分団二百六十五名の消防団があり、地道なボランティア活動をにつづけ、防災にあたっています。

災害はいつ起こるかわかりません。一秒をあらそうような緊急事態には、町や消防団、警察でも、あなたを危険から救うことができない状況もあります。

町民の皆さん一人一人が、自分の生命財産は自分で護るという心構えが最も必要です。

万一に備え防災点検をしましょう。

家族そろって防災の話し合い
火災や地震が起きても、あわて

ずに対処できるような心構えが必要です。避難の場所・方法・非常持出品等について話し合っておきましょう。

住み慣れた家を診断する

●火災にそなえて、軒裏・外壁をモルタル仕上げなどの防火構造にする。

●柱・桁・土台などにカスガイを入れる。

●老朽化した土台・柱は新しいものに取りかえる。

●火を使う部屋では、できるだけ火のつきにくいように整備しておく。

●初期消火は一瞬でも早く行うことが大切。消火器・三角消火バケツ・水などを家の要所要所におく。

●一刻も早く消防車に來てもらおうように、通報手段を確保する。

地震の心得十か条

一、まずわが身の安全

丈夫なテーブル・机の下に身をかくして様子を見る。

二、すばやく火の始末
火を使っている時に地震がきたらすばやく火を始末する。

三、火が出たらまず消火
大火災をおこさないように初期消火にあたる。

四、あわてて戸外に飛び出すな
どんな大きな地震でも、大揺れは一分程度。落ちついて行動する。

五、狭い路地・へいぎわ・がけや川べりによらない。

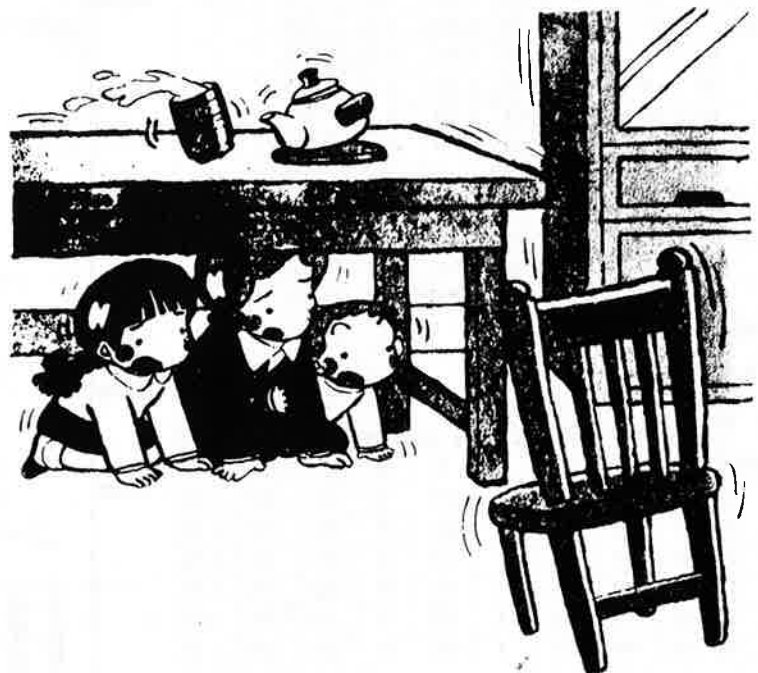
六、山崩れ・がけ崩れ・津波・浸水に注意する。

七、避難は徒歩で持ち物は最少限にする。

八、協力して応急救護する。

九、正しい情報をつかみ、余震を恐れぬ。

十、秩序を守り、衛生に注意する。





数字でみる おんじゅくの すがた



●年別気温

年	平均	最高	最低	降雨量
30	16.6	34.1	-4.4	2220.3
40	14.9	31.6	-4.8	1639.5
50	15.0	31.2	-2.4	1969.0
53	15.4	31.5	-4.5	2049.5
54	16.3	32.8	-1.0	2103.5
55	15.7	30.1	-2.2	2243.5

UKU ONJUKU ONJUKU ONJUKU ON
 UKU ONJUKU ONJUKU ONJUKU ON
 UKU ONJUKU ONJUKU ONJUKU ON
 UKU ONJUKU ONJUKU ONJUKU ON
 UKU ONJUKU ONJUKU ONJUKU ON

人口気象

●55年の月別気温

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均気温	6.5	5.5	8.6	13.3	17.9	21.3	23.0	22.7	22.4	18.5	13.8	8.3
最高	18.1	14.1	21.9	20.0	25.1	26.9	29.0	29.4	30.1	26.0	22.5	20.0
最低	-1.8	-2.2	1.5	4.7	5.7	15.8	17.3	16.9	14.0	7.7	3.9	-2.0
降雨量	173.0	32.5	199.0	184.0	275.0	157.0	111.5	290.0	138.0	390.5	190.5	102.5

●人口の推移(国勢調査)

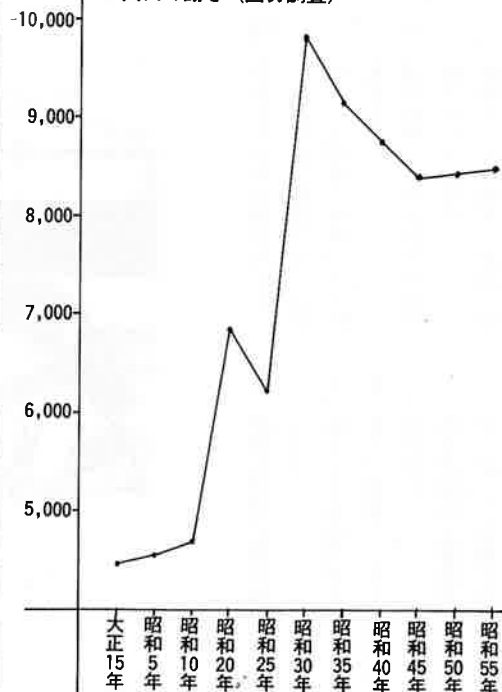
年次	世帯数	人口			1世帯 平均人員	人口密度 1 km ²	面積 km ²
		総数	男	女			
大正15	982	4,408	2,122	2,286	4.5	448	9.85
昭和5	1,022	4,611	2,153	2,458	4.5	468	//
10	1,016	4,798	2,197	2,601	4.7	487	//
20	1,196	6,829	3,197	3,632	5.7	693	//
25	1,307	6,195	2,816	3,379	4.7	629	//
30	2,022	9,753	4,519	5,234	4.8	389	25.04
35	2,047	9,273	4,313	4,960	4.5	370	//
40	2,068	8,815	4,053	4,762	4.3	352	//
45	2,136	8,475	3,853	4,617	4.0	338	//
50	2,263	8,484	3,960	4,524	3.7	339	25.05
55	2,432	8,486	4,027	4,459	3.4	339	//

※昭和30年 布施・岩和田合併

●人口動態

年次	自然動態						社会動態			
	出生	死亡	自然増減 出生-死亡	死産	婚姻	離婚	転入	転出	社会増減	
昭和30	184	74	110	19	68	9	484	784	△300	
40	132	91	41	19	254	9	221	353	△132	
50	114	94	20	9	208	13	322	379	△ 57	
51	112	95	17	7	119	12	281	369	△ 88	
52	98	93	5	3	164	20	357	370	△ 13	
53	95	79	16	4	166	14	357	344	13	
54	103	104	△1	1	183	15	341	375	△ 34	

●人口の動き (国勢調査)

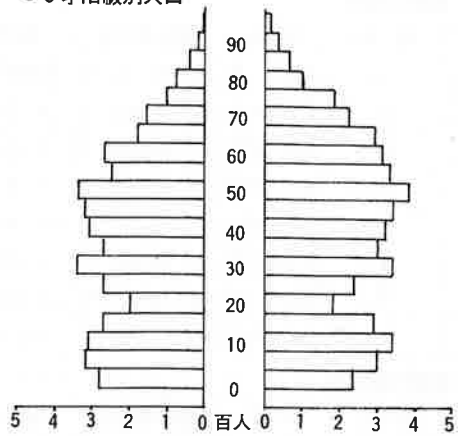


※昭和三十年布施・岩和田合併

● 行政区別世帯と人口

区名	世帯数	人口		
		男	女	計
須賀	318	478	523	1,001
浜	275	446	495	941
高山田	92	178	172	350
久保	280	468	533	1,001
新町	446	664	762	1,426
六軒町	233	356	397	753
岩和田	457	796	891	1,687
実谷	128	258	270	528
上布施	203	383	416	799
合計	2,432	4,027	4,459	8,486

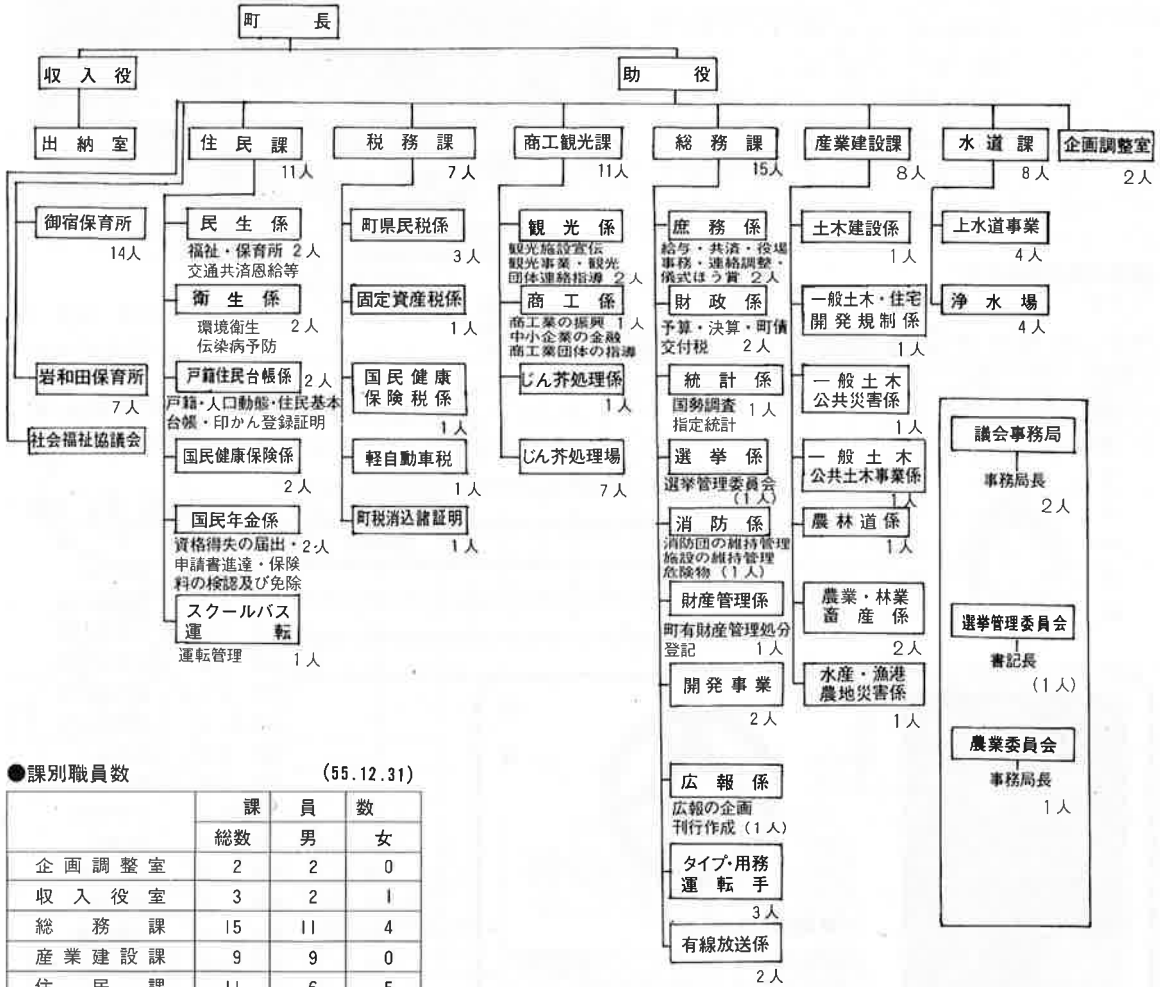
● 5才階級人口



議 会 行 政



● 事務組織の状況



● 課別職員数

(55.12.31)

	課	員 数	
		総数	男 女
企画調整室	2	2	0
収入役室	3	2	1
総務課	15	11	4
産業建設課	9	9	0
住民課	11	6	5
税務課	7	5	2
商工観光課	11	11	0
水道課	8	8	0
保育所	21	0	21
合計	87	54	33

特 別 職	総数	
	男	女
	3	0

●歴代議長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	吉野 要	昭和30. 3. 31	昭和32. 9. 30
2	浅野 航海	// 32. 10. 1	// 34. 9. 30
3	新井 清治	// 34. 10. 1	// 40. 9. 30
4	関 龍雄	// 40. 10. 1	// 44. 9. 30
5	中村 喜一	// 44. 10. 1	// 48. 10. 31
6	江沢富士松	// 48. 12. 4	// 50. 10. 11
7	岩崎栄一郎	// 50. 11. 12	// 54. 9. 30
8	石田 行雄	// 54. 10. 1	在任中

●歴代副議長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	渡辺 胤生	昭和30. 3. 31	昭和30. 9. 30
2	市東 三郎	// 30. 10. 1	// 32. 9. 30
3	新井 清治	// 32. 10. 1	// 34. 9. 30
4	岩崎栄一郎	// 34. 10. 1	// 40. 9. 30
5	中村 喜一	// 40. 10. 1	// 44. 9. 30
6	江沢富士松	// 44. 10. 1	// 48. 12. 3
7	江沢 一雄	// 48. 12. 4	// 52. 9. 17
8	石田 行雄	// 52. 9. 17	// 54. 9. 30
9	井上 泰爾	// 54. 10. 1	在任中

●歴代町長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
(町長職務執行者)	大地 重直	昭和30. 3. 31	昭和30. 5. 15
1	井上 文吉	// 30. 5. 16	// 42. 5. 14
2	岩井 敏夫	// 42. 5. 15	// 54. 5. 14
3	高梨 秀治	// 54. 5. 15	在任中

●歴代助役

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	相原誠三郎	昭和30. 10. 18	昭和38. 10. 17
2	岩井 敏夫	// 39. 1. 10	// 42. 4. 17
3	佐藤 清司	// 42. 12. 20	// 45. 10. 31
4	浅野 興典	// 47. 4. 1	// 54. 5. 14
5	池田 覚道	// 55. 3. 1	在任中

●歴代収入役

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
1	相原誠三郎	昭和29. 2. 13	昭和30. 10. 17
2	佐藤 清司	// 30. 10. 18	// 42. 12. 19
3	浅野 興典	// 42. 12. 20	// 47. 3. 31
4	和田 正美	// 47. 4. 1	// 54. 5. 14
5	岩瀬 剛	// 54. 7. 1	在任中

●議会等の開催状況

区分 年次	定例会				臨時会				請陳 件数	願 情 数
	回数	会期	町長提出議案	議員提出議案	回数	会期	町長提出議案	議員提出議案		
昭48	4	12	53	0	1	1	7	1	0	
49	4	9	67	2	2	2	1	5	1	
50	4	9	46	1	1	1	2	0	0	
51	4	11	35	2	2	2	5	0	0	
52	4	11	37	0	2	2	6	0	1	
53	4	12	36	1	0	0	0	0	2	
54	4	12	33	1	3	3	5	0	4	
55	4	11	35	2	2	2	4	0	2	


●議会運営・活動状況

定例会 年4回(条例) 3月・6月・9月・12月

●党派


無所属	公明党	日本共産党
16人	1人	1人

議会議長	石田 行雄	同副議長	井上 泰爾
議席番号	氏名	住所	
1	貝塚 徳治	新町168	
2	神楽 祐司	岩和田1128	
3	佐藤 高二	上布施2159	
4	石田 行雄	岩和田1010	
5	関野 正治	岩和田1058	
6	岩崎栄一郎	岩和田1047	
7	岩塚 秀雄	浜451	
8	永野 三郎	岩和田750-2	
9	江沢富士松	岩和田925	
10	白鳥 時雄	浜2163	
11	石井 進	久保2109	
12	藤井 昇	新町776	
13	岡村 甲純	久保2028	
14	井上千太郎	久保2031	
15	井上 浩一	高山田805	
16	鶴岡 光雄	須賀597	
17	吉野 寅造	実谷210	
18	井上 泰爾	高山田1831	



キヨウチノクドウ

町の木



町章

●町章のいわれ

町名の頭文字「オ・ン」を図案化したもので 合併した3町村が丸く和合し未来に向かって大きく発展することを表わしたもの

昭和40年3月制定

創案者=御宿町六軒町 藤江真一

●最近の選挙における投票状況

選挙名	施行年月日	当日有権者数			投票者数			投票率(%)		
		総数	男	女	総数	男	女	平均	男	女
御宿町長選挙	50年4月27日	6,361	2,947	3,414	5,257	2,384	2,873	82.64	80.90	84.15
御宿町議会議員選挙	50年9月21日	6,414	2,977	3,437	5,924	2,699	3,225	92.36	90.66	93.83
衆議院議員選挙	51年12月5日	6,445	3,000	3,445	5,277	2,402	2,875	81.88	80.07	83.45
参議院議員選挙	52年7月10日	6,449	3,004	3,445	4,260	1,940	2,320	66.06	64.61	67.31
千葉県知事・議員選挙	54年4月8日	6,396	2,973	3,423	5,270	2,385	2,885	82.40	80.22	84.28
御宿町長選挙	54年4月22日	6,398	2,975	3,423	5,869	2,695	3,174	91.73	90.59	92.73
御宿町議会議員選挙	54年9月23日	6,426	2,999	3,427	5,890	2,707	3,183	91.66	90.26	92.88
衆議院議員選挙	54年10月7日	6,468	3,015	3,453	4,818	2,202	2,616	74.49	73.03	75.76
参議院議員選挙	55年6月22日	6,463	3,023	3,440	4,958	2,270	2,688	76.71	75.09	78.14
衆議院議員選挙	55年6月22日	6,463	3,023	3,440	4,962	2,272	2,690	76.88	75.16	78.20



選挙を通じて行政に参加

●投票区別有権者数

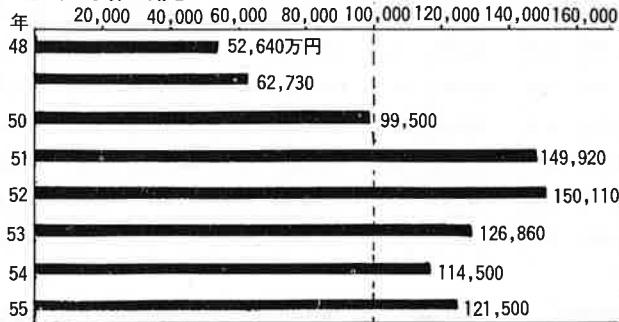
(55年9月現在)

区分	投票区域	計	男	女
第一投票区	久保・新町・六軒町	2,438	1,137	1,301
第二投票区	須賀・浜・高山田	1,707	808	899
第三投票区	岩和田	1,271	585	686
第四投票区	上布施	617	290	327
第五投票区	実谷・七本	432	208	224
総数		6,465	3,028	3,437

●54年度町民1人当たり



●当初予算の動き



町有財産	土地 672,943㎡ 	建物 24,591㎡
	町の借金 650,751,000円 	有価証券 2,361,000円

54年度 住民負担の状況		大字1世帯当たり・円 ()—1人当たり円	
町民税 54,436 	たばこ消費税 14,330 	(15,065)	(3,966)
固定資産税 54,298 	電気 5,553 	(15,027)	(1,545)
軽自動車税 1,161 	木材引取税 40 	(321)	(11)
特別土地保有税 15,651	(4,332)		

(滞納繰越金、国などから交付される固定資産税を除く)

●普通会計歳入・歳出決算額の推移

(千円)

種 別	年 度		昭和49年度		昭和50年度		昭和51年度		昭和52年度		昭和53年度		昭和54年度	
合 計			1,000,272	100.0	1,030,976	100.0	1,474,698	100.0	2,657,043	100.0	1,588,539	100.0	1,539,617	100.0
地 方 税			175,676	17.6	187,905	18.2	229,132	15.5	270,709	10.2	292,864	18.4	341,631	22.2
地 方 譲 与 税			5,736	0.6	6,506	0.6	11,218	0.8	12,703	0.5	12,983	0.8	24,865	1.6
自 動 車 交 付 税			7,578	0.8	9,139	0.9	9,035	0.6	10,552	0.4	12,712	0.8	19,709	1.3
地 方 交 付 税			281,110	28.1	294,309	28.5	323,053	21.6	350,609	13.2	409,770	25.8	415,250	27.0
交 通 安 全 交 付 金			704	0.1	915	0.1	817	0.1	916		1,110	0.1	1,140	0.1
分 担 金 及 負 担 金			23,180	2.3	15,295	1.5	60,142	4.1	74,261	2.8	98,689	6.2	32,508	2.1
使 用 料 及 手 数 料			33,284	3.3	28,746	2.8	32,897	2.2	34,178	1.3	45,042	2.8	50,662	3.3
国 庫 支 出 金			146,762	14.7	141,074	13.7	183,020	12.4	360,738	13.6	204,227	12.8	165,975	10.8
県 支 出 金			74,710	7.5	102,342	9.9	111,731	7.6	148,520	5.6	123,681	7.8	91,463	5.9
財 産 収 入			17,895	1.8	41,930	4.1	28,571	1.9	55,790	2.1	71,386	4.5	33,440	2.2
寄 付 金			14,375	1.4	1,750	0.2	805	0.1	1,755	0.1	2,800	0.2	1,950	0.1
繰 入 金			8,850	0.8	4,450	0.4	21,719	1.5	70,000	2.6			2,076	0.1
繰 越 金			72,223	7.2	89,294	8.7	108,018	7.3	136,217	5.1	106,300	6.7	166,604	10.8
諸 収 入			73,989	7.4	75,021	7.3	314,540	21.3	922,695	34.7	128,075	8.1	62,344	4.1
地 方 債			64,200	6.4	32,300	3.1	40,000	2.7	207,400	7.8	78,900	5.0	130,000	8.4

●目的別歳出の推移

(千円)

種 別	年 度		昭和49年		昭和50年		昭和51年		昭和52年		昭和53年		昭和54年	
合 計			910,978	100.0	922,958	100.0	1,338,481	100.0	2,550,743	100.0	1,421,935	100.0	1,384,601	100.0
議 会 費			17,378	1.9	20,196	2.2	28,594	2.1	32,937	1.3	36,369	2.6	42,403	3.0
総 務 費			140,968	15.5	149,138	16.2	172,808	12.9	220,205	8.6	208,067	14.6	336,044	24.2
民 生 費			93,861	10.3	179,516	19.5	155,851	11.7	142,194	5.9	154,669	10.9	164,698	11.9
衛 生 費			95,040	10.4	112,701	12.2	358,814	26.8	898,423	35.2	160,300	11.3	105,520	7.6
農 林 水 産 業 費			121,756	13.4	177,932	19.3	258,041	19.3	247,350	9.7	266,617	18.8	156,922	11.3
商 工 費			32,808	3.6	26,146	2.8	20,803	1.6	36,009	1.4	103,839	7.3	66,548	4.8
土 木 費			83,785	9.2	104,411	11.3	121,875	9.1	273,934	10.7	237,662	16.7	219,308	15.8
消 防 費			26,201	2.9	15,160	1.6	22,939	1.7	20,672	0.8	36,128	2.5	48,632	3.5
教 育 費			219,593	24.1	93,193	10.1	90,021	6.7	496,429	19.5	146,361	10.3	165,663	11.9
災 害 復 旧 費			45,496	5.0	6,241	0.7	67,355	5.0	135,171	5.3	15,966	1.1	13,755	1.0
公 債 費			34,092	3.7	38,324	4.1	41,380	3.1	47,419	1.9	55,957	3.9	65,108	4.7

●性質別歳出の推移

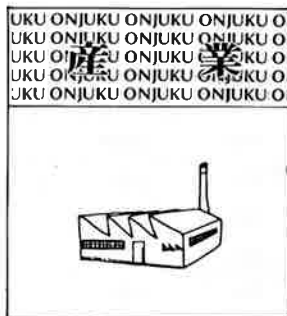
(千円)

種 別	年 度		昭和49年		昭和50年		昭和51年		昭和52年		昭和53年		昭和54年	
合 計			910,978	100.0	922,958	100.0	1,338,481	100.0	2,550,743	100.0	1,421,935	100.0	1,384,601	100.0
人 件 費			190,478	20.9	217,303	23.5	241,427	18.0	268,972	10.5	288,670	20.3	300,065	21.7
扶 助 費			30,476	3.3	38,292	4.2	44,115	3.3	48,897	1.9	52,293	3.7	58,022	4.2
公 債 費			34,092	3.7	38,311	4.2	41,354	3.1	47,401	1.9	55,939	3.9	65,084	4.7
物 件 費			49,166	5.4	59,099	6.4	64,310	4.8	73,940	2.9	104,904	7.4	87,515	6.3
維 持 補 修 費			5,343	0.6	5,241	0.6	8,099	0.6	4,805	0.2	5,279	0.4	11,042	0.8
補 助 資 等			118,043	11.0	126,981	13.8	153,737	11.5	169,799	6.6	242,291	17.0	299,721	21.7
積 立 金			3,494	0.4	5,784	0.6	5,658	0.4	7,608	0.3	2,635	0.2	52,853	3.8
投 資 ・ 出 資 金 ・ 貸 付 金			66,278	7.3	80,437	8.7	319,428	23.9	853,875	33.5	93,192	6.6	18,310	1.3
繰 出 金			0	0	500		0		0		600			
普 通 建 設 事 業 費			368,112	40.4	344,769	37.3	392,998	29.4	940,275	36.9	560,166	39.4	478,234	34.5
災 害 復 旧 事 業 費			45,496	5.0	6,241	0.7	67,355	5.0	135,171	5.3	15,966	1.1	13,755	1.0

●産業別就業者数

(国勢調査より)

区分	種別	30年		35年		40年		45年		50年	
		就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%	就業者	%
第1次産業	農業、林業、狩猟業 漁業、水産、養殖業	2,223	56.3	2,231	51.9	1,579	42.0	1,302	32.6	687	19.4
第2次産業	鉱業、建設業、製造業	571	14.5	703	16.4	764	20.3	1,007	25.2	1,039	29.4
第3次産業	卸小売業、金融保険業 その他	1,156	29.2	1,363	31.7	1,415	37.7	1,686	42.2	1,813	51.2
計		3,950	100.0	4,297	100.0	3,758	100.0	3,995	100.0	3,539	100.0



●産業別就業者数の推移 (国調)

昭和30年	第一次産業 (56.3)	第2次 (14.5)	第3次 (29.2)
昭和35年	第一次産業 (51.9)	第2次 (16.4)	第3次 (31.7)
昭和40年	第一次産業 (42.0)	第2次 (20.3)	第3次 (37.7)
昭和45年	第一次産業 (32.6)	第2次 (25.2)	第3次 (42.2)
昭和50年	第一次産業 (19.4)	第2次 (29.4)	第3次 (51.2)

第一次産業—農業 漁業 水産養殖業

第二次産業—鉱業 建設業 製造業

第三次産業—卸小売業 金融 保険 不動産業 運輸 通信 電気 ガス 水道 サービス業 公務

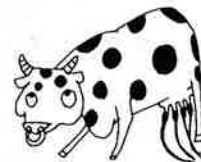
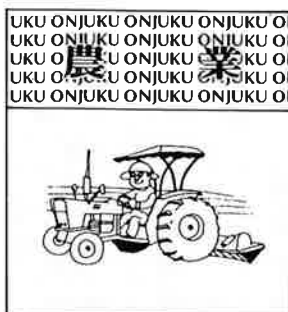
●業種別総所得金額

(単位千円)

業種	年次	47	48	49	50	51	53	54	55
給与所得		1,365,145	1,728,431	1,934,865	2,190,153	2,471,928	2,855,929	3,214,187	3,484,162
営業所復		193,442	249,364	254,874	238,007	250,079	291,527	356,658	340,031
農業所得		48,848	49,985	76,703	50,631	24,932	27,473	18,778	8,236
その他事業所得		181,894	192,783	212,131	188,515	211,347	257,625	280,974	352,630
その他の所得		15,747	16,353	14,794	34,489	17,824	29,077	48,417	34,844
譲渡所得		451,334	499,420	120,968	82,480	71,095	42,644	82,881	136,838
計		2,256,410	2,736,336	2,614,335	2,784,275	3,047,195	3,504,275	4,001,895	4,356,741

●農家数の動き

年度	総数	専業	第1種兼業	第2種兼業
44	608	34	198	376
45	584	29	177	378
46	557	28	110	419
47	553	30	94	429
48	532	25	107	400
49	470	24	144	302
50	452	29	133	290
51	448	23	161	264
52	440	26	136	278
53	432	19	125	288
54	430	23	120	287



●経営規模別農家数

(55. 2. 1 現在)

年度	総数	10~30 アール (1反~3反)	30~50 アール (3反~5反)	50~100 アール (5反~1町)	100~150 アール (1町~1.5町)	150以上 アール (1.5町以上)	例 外 規 定
40	676	201戸	100	195	150	27	3
41	671	199	103	190	150	26	3
42	665	194	107	187	148	27	2
43	641	176	103	195	136	29	2
44	608	155	104	187	132	28	0
45	584	147	96	183	129	29	0
46	557	137	90	186	116	26	2
47	553	136	92	194	105	24	2
48	532	119	92	198	98	22	3
49	470	96	83	206	61	11	3
50	452	85	87	197	68	11	4
51	448	86	76	185	79	19	3
52	440	79	89	178	74	17	3
53	432	82	81	178	77	12	2
54	430	89	81	185	59	13	3

●農業機械所有台数

(55. 2. 1 現在)

年 次	動力耕うん機 農用トラクター	動 力 噴霧機	動 力 散粉機	田植機	バイン ダー	自 脱 型 コンバイン	米麦用 乾燥機	農用トラック オート三輪
38	219	12	3	—	—	—	—	9
46	317	7	59	54	58	0	—	25
47	319	12	55	55	56	1	—	29
48	333	10	56	56	95	4	—	33
49	365	12	59	59	141	4	—	45
50	398	45	23	39	198	8	305	37
51	430	21	32	79	207	15	338	45
52	435	13	41	114	226	40	329	34
53	445	12	68	181	222	70	325	62
54	453	14	72	184	242	81	326	64

●主要作物収穫面積の累計比較

(単位 a)

年度	水 稻	麦 類	甘 藷
S3	33,850	6,230	2,780
38	33,090	3,200	1,930
40	32,835	2,438	1,629
41	32,537	2,529	1,730
42	32,253	2,053	1,603
43	31,838	1,795	1,333
44	31,176	1,249	783
45	28,108	749	710
46	26,393	519	510
47	25,338	230	403
48	24,542	200	331
49	23,331	100	303
50	22,549	4	273
51	23,753	4	223
52	23,419	4	252
53	21,353	6	244
54	21,223	3	216

●畜産 (55. 2. 1 現在)

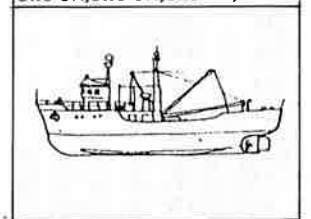
種 類	頭羽数
乳 牛	21
乳牛以外	30
にわとり	17,005

●年次別組合水揚高

(単位：千円)

種 別	御 宿			岩 和 田		
	52年	53年	54年	52年	53年	54年
魚 類	231,763	180,823	194,273	331,084	349,103	480,673
貝 類	73,730	89,204	98,640	243,959	238,565	319,875
藻 類	1,198	201	525	1,624	719	658
計	306,691	270,228	293,438	576,667	588,387	801,206

UKU ONJUKU ONJUKU ONJUKU ON
UKU ONJUKU ONJUKU ONJUKU ON
魚 業
UKU ONJUKU ONJUKU ONJUKU ON
UKU ONJUKU ONJUKU ONJUKU ON



●工業の推移

(工業統計調査) (万円)

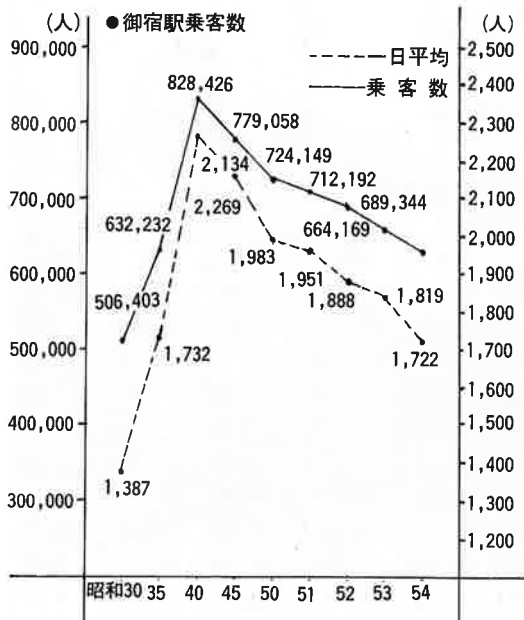
区分 年度別	事業所数	従業者数(人)			現金給与 総額	製造品 出荷額等	従業者1人 当り出荷額
		計	常用 労働者数	業主及び 家族従業者			
昭和30	58	226	121	105	—	23,196	102
35	60	351	258	93	—	25,715	73
40	50	470	399	71	—	51,690	110
45	51	832	769	63	25,189	113,663	137
50	49	615	555	60	40,747	128,696	209
51	48	597	542	55	49,402	147,332	247
52	49	575	518	57	50,734	166,545	290
53	47	538	484	54	54,470	167,359	311
54	54	598	539	59	63,156	197,209	329



●業種別商店数など

(昭和54年商業統計より) (万円)

対象業種 ()	商店数	従業者数	売場面積 (平方メートル)	年間 販売額	商品 手持額	修理料 サービス 料収入
一般卸売業	14	67	—	202,708	10,140	203
代理商仲立業	—	—	—	—	—	—
織物・衣服・身の廻り品小売業	18	54	966	33,564	8,097	81
飲食料品小売業	83	198	3,044	169,279	9,448	—
自転車荷車小売業	5	9	198	4,704	1,176	451
家具建具・什器小売業	15	50	706	32,135	5,052	1,096
その他の小売業	37	123	1,244	127,922	16,808	1,946
総数	172	501	6,158	570,312	50,721	3,777
飲食店	67	318	—	47,748	—	—



●自動車保有台数 (55.4.1)

車種	御宿町	夷隅郡市計
トラック	299	4,137
貨客	254	2,826
バス	28	177
普通乗用	30	292
小型乗用	1,271	15,445
三輪	—	1
特殊	5	215
計	1,887	23,093

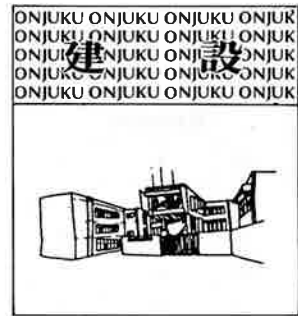
●電話加入状況

(55.12.31現在)

年次	開 通 加 入 電 話 数									公衆電話
	総 数			単 独 電 話 数			共 同 電 話 数			
	総 数	事務用	住宅用	総 数	事務用	住宅用	総 数	事務用	住宅用	
32	184	180	3	180	180					1
39	335	269	55	271	221	39	64	48	16	11
50	2,125	994	1,131	1,888	918	970	237	76	161	56
55	2,879	1,103	1,776	2,689	1,047	1,642	190	56	134	56

●道路の現況

路 線 名		単位	町 道	県 道	国 道	計
路 線 数		本	2,512	4	1	1,514
実 延 長		m	255,651.6	11,238	3,895	275,071
内 訳	改 良 済 延 長	m	33,827.2	9,481	3,895	53,330
	未 改 良 延 長	m	221,824.4	1,757	0	221,741
内 種 類 別	橋 梁 延 長	m	78ヶ所469.3	111	1ヶ所 14	587
	隧 道 延 長	m	15ヶ所699.0	110	6ヶ所382	1,191
幅 員 別 内 訳	改 良 7.5m 以 上	m	7,849.5	320	3,895	10,302.6
	5.5m 以 上	m	20,066.6	7,010	—	24,011.8
	未 改 良 4.5m 以 上	m	5,911.1	2,151	—	7,647.5
	4.5m 以 上	m	1,305.2	—	—	4,062.0
	改 良 3.5m 以 上	m	17,997.5	—	—	13,488.0
	未 改 良 3.5m 未 満	m	202,521.7	1,757	—	215,559.1
自 動 車 交 通 不 能		m	255,651.6	300	—	198,907
路 面 別 内 訳	砂 利 道	m	207,322.9	300	—	220,338
	セ メ ン ト 系	m	0	—	—	0
	ア ス フ ァ ル 高 級	m	0	6,759	3,895	10,654
	舗 装 道 ト 系 簡 易	m	48,328.7	4,179	—	44,079
	計	m	48,328.7	11,238	3,895	15,133



●林道の現況

項 目		本数	数 値
林 業 施 設	林 道 延 長 (m)		
	市 町 村	14	12,554
	国 有		
	そ の 他		12,554
	計	14	12,554
林 野 面 積 (ha)			545

●町道の延長面積

総 数		舗 装 道	砂 利 道
延 長	面 積	延 長	延 長
259,938 m	1,133,031 m ²	48,328.7 m	207,322.9 m

●町道の内訳

(55.4.1)

項 目	数 値
道	
実 延 長 (m)	255,651.6
面 積 路 面 (m ²)	661,185
改 良 済 延 長 (m)	33,827.2
舗 装 済 延 長 (m)	48,328.7
自 動 車 交 通 不 能 道 延 長 (m)	196,977.4
歩 道 延 長 (m)	1,908
防 護 柵 延 長 (m)	2,910
歩 道 橋 (m)	(2)27
路	
市 町 村 道 と 鉄 道 と の 交 差 箇 所 数	6
う ち 立 体 交 差 箇 所 数	4

実延長の内訳	1.5m 以上 4.5m 未満 (m)	220,519.2
	4.5m 以上 (m)	35,132.4
	計	255,651.6

●交通事故発生状況(54年)

(資料 大原警察署)

月別	死傷者数			人身事故件数		物損事故件数		合計
	死	傷	軽	管内	町内	管内	町内	
1	0	0	5	10	2	17	7	27
2	0	1	1	6	2	11	1	17
3	0	0	0	10	0	23	7	33
4	0	0	5	14	3	15	4	29
5	0	0	2	15	2	25	4	40
6	0	2	5	11	6	25	6	36
7	0	1	10	26	8	37	13	63
8	1	0	7	24	5	52	25	76
9	1	1	2	8	3	14	2	22
10	0	2	2	11	3	24	6	35
11	0	1	4	12	4	19	6	31
12	0	1	4	11	5	19	2	30
計	2	9	47	158	43	281	83	439

●被災危険箇所

危険箇所数	がけ崩れ 隧 道	11ヶ所 2ヶ所	212世帯
浸水危険箇所	新 町 // // 岩 和 田 須 賀 浜 高 山 田	御宿中学校前 天の守下 黒田石綿周辺 入宿 駅前より須賀三角間 鶴寿司周辺 須麦・島田宅周辺	



消火栓の場所・使い方を覚えましょう

●消防の施設状況

消 防 ポ ン プ 車	7
水 せ う 付 ポ ン プ 車	1
小 型 ポ ン プ	3
指 揮 広 報 車	1
消 火 水 せ う	72
消 火 栓	45

●大地震・風水害等の避難場所

(1) 御 宿 小 学 校	御宿町久保2085	23,819㎡
(2) 御 宿 中 学 校	// 新町68	27,484
(3) 岩 和 田 小 学 校	// 岩和田1075	5,448
(4) 御 宿 町 役 場	// 久保2200	10,581
(5) 布 施 小 学 校	// 上布施909	12,638
(6) 実 谷 区 民 館	// 実谷589	1,177
(7) 岩 和 田 青 年 館	// 岩和田788	11,250
(8) 八 坂 神 社	// 須賀525	2,006
(9) 御 宿 家 政 高 校	// 久保152 8	26,582

●火災事故発生件数

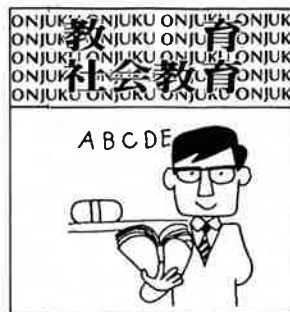
年 次	火 災 件 数				焼失面積(㎡)		損害額 (千円)
	総数	建物	山林 原野	その 他	建 物	山 林 その他	
40	2	2	0	0	164	0	1,730
50	0	0	0	0	0	0	0
51	1	1	0	0	121	0	3,300
52	0	0	0	0	0	0	0
53	1	1	0	0	37.19	0	14,410
54	1	1	0	0	231	0	3,600

●交通事故発生件数の推移

年 度 区 分	発生件数	死者数	負傷者数
30	6	1	5
39	22	0	28
49	42	2	62
50	24	1	29
51	30	2	37
52	30	0	34
53	36	2	63
54	43	2	56
55	35	1	56

●町立小学校の児童、教職員数 ()内は特殊(55. 5)

学校名	児童数	学級数	教員数	事務 栄養職員	調理員	用務員
総 数	802(1)	24(3)	41	4	6	3
御 宿 小	470(3)	12(1)	19	2	4	1
岩和田小	163(3)	6(1)	12	1	2	1
布 施 小	169(6)	6(1)	10	1		1



●町立中学校・県立高校の生徒、教職員数 ()内は特殊(55. 5)

学校名	生徒数	学級数	教員数	事務職員	調理員	用務員
御 宿 中 学 校	355(10)	9(2)	21	1	4	1
県 立 御 宿 家 政 高 等 学 校	402	9	29	3	0	4

●教育

学 校 名	所 在 地	電 話
御宿小学校	久保2085	2009
岩和田小学校	岩和田1075	2254
布施小学校	上布施909	2437
御宿中学校	新町68	2101
県立御宿家政高校	久保1528	2911

●公民館・資料館利用状況

54年度	公 民 館		資 料 館	
	1日平均	年間利用者数	1日平均	年間利用者数
	85.6	24,838	8.4	2,440

●卒業生進路状況

卒業年度	高 等 学 校 進 学		就 職		各 種 学 校		計
	進学者数	率(%)	就職数	率(%)	人 数	率(%)	
50	116	88	10	8	6	4	132
51	108	91	7	6	4	3	119
52	110	90	12	10	0	0	122
53	124	95	7	5	0	0	131
54	126	88	17	12	0	0	143
55(推)	112	92	7	6	3	2	122

●御宿家政高等学校卒業生進路状況

卒業年度	大 学 進 学		就 職		各 種 学 校		家 事 手 伝		計
	人 数	率(%)	人 数	率(%)	人 数	率(%)	人 数	率(%)	
50	17	13	89	68	25	19	0	0	131
51	12	9	88	66	29	22	4	3	133
52	10	8	101	76	20	15	1	1	132
53	6	5	104	81	18	14	0	0	128
54	14	12	83	63	31	24	3	1	131
55(推)	7	6	71	57	43	34	4	3	125



日西墨交通発祥記念碑

●学校別児童生徒数

学校名	児童生徒数		
	計	男	女
御宿小学校	473	238	235
岩和田小学校	166	86	80
布施小学校	175	100	75
小学校計	814	424	390
御宿中学校	365	179	186

●児童・生徒数の推移

年度	区分	児童生徒数		
		総数	小学校	中学校
30		2,063	1,659	404
35		2,297	1,627	670
40		1,828	1,153	675
50		1,220	848	372
55		1,179	814	365

●指定文化財一覧

種別	文化財	指定年月日	所在地	管理者
記念物	ドンロドリゴ上陸地	県指定41. 12. 2	岩和田626	御宿町
有形文化財	ドンロドリゴ関係遺品	町指定49. 3. 29	久保1916	岩瀬禎之
"	サンフランシスコ号キール			
"	木造阿弥陀如来像	" "	浜572-1	妙音寺
"	亀甲地双鶴	" "	"	"
"	白銅鏡	" "	"	"
"	木造大日如来座像	" "	上布施1474	真常寺
"	木造如意輪観音座像	" "	"	"
"	十王堂縁起	" "	六軒町区	十王寺
記念物	夫婦銀杏	" 53. 3. 27	須賀668	最明寺
"	太ソテツ	" "	須賀160-4	御宿町
有形文化財	双盤	" 54. 6. 27	須賀668	最明寺

●定期健康診断・予防接種の状況

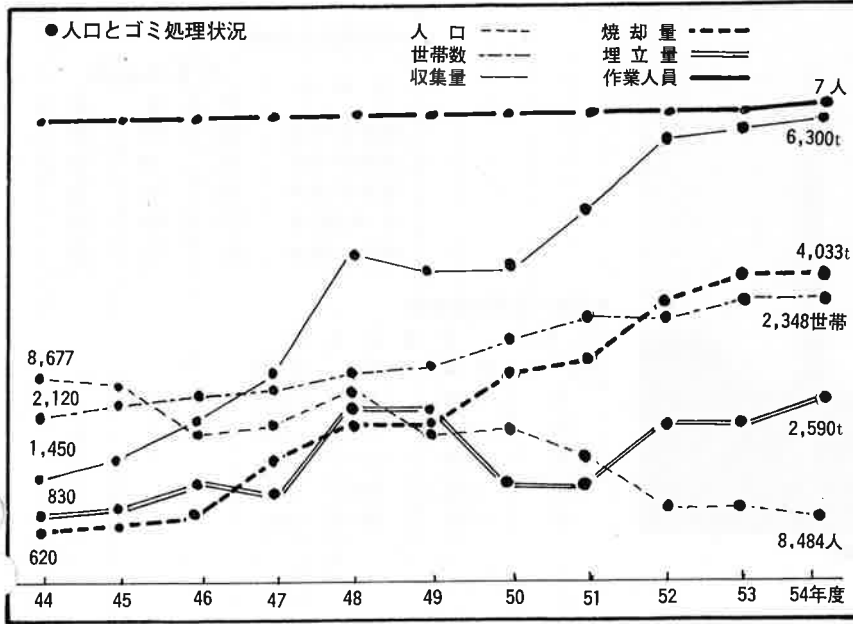
区分	昭和52年度	昭和53年度	昭和54年度
シフテリア	0	93	135
破傷風			
シフテリア			
百日咳	107	232	252
小児マヒ・生ワク	122	155	189
日本脳炎	1,382	409	529
インフルエンザ	1,382	2,398	2,075
風しん	—	25	27
はしか	—	67	70

●国民健康保険加入者及び給付の状況

	加入者			給付	
	世帯	加入者	加入率	給付額(千円)	増加率
32年度	1,518	7,290	72.9%	9,460	—
50	1,681	5,402	63.0%	249,287	2535.2
51	1,646	5,188	61.0%	286,407	14.8
52	1,616	5,83	59.3%	325,598	13.7
53	1,627	5,032	59.2%	380,429	16.8
54	1,636	4,921	57.8%	411,775	8.2

ONJUKU ONJUKU ONJUKU ONJUKU
ONJUKU ONJUKU ONJUKU ONJUKU
ONJUKU ONJUKU ONJUKU ONJUKU
ONJUKU ONJUKU ONJUKU ONJUKU
ONJUKU ONJUKU ONJUKU ONJUKU





●ごみ処理施設

処理計画人口 (人)	8484	
処理人口 (人)	8484	
年間総排出量 (t)	6300	
年間総収集量 (t)	5816	
年間総処理量 (t)	焼却処理等	4033
	高速堆肥化処理	
	埋立処理	
	その他	1783
計	5816	
焼却処理稼働日数	286	
高速堆肥化処理稼働日数		
収集能力	収集職員数 (人)	4
	収集車輛 (台)	
	特殊運搬車	1
	運搬車	2
計	3	
処理能力	処理場職員数 (人)	3
	施設能力 (t)	
	焼却処理	10
	高速堆肥化処理	
計	10	
自家処理量 (t)	484	

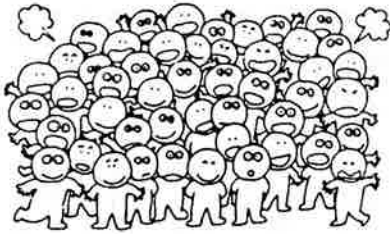
●御宿町官公庁・学校・各種団体一覧

名称	所在地	電話
御宿町役場	久保 2200	2511
御宿町焼却場	久保 1041	4613
御宿町浄水場	実谷 519	4885
御宿町公民館	久保 2200	2947
御宿町歴史民俗資料館	//	4311
御宿駅	須賀 191	2053
御宿郵便局	新町 397	2871
布施郵便局	上布施 1400	2870
御宿漁業協同組合	浜 413	2611
岩和田漁業協同組合	岩和田 926	2011
御宿町観光協会	久保 2200	2511
御宿町体育協会	//	2947
御宿町商工会	//	2818
御宿町婦人会	上布施 847	2530
御宿町商店振興会	久保 2200	2818
御宿町農業協同組合	須賀 167	2424
駅前警察官駐在所	//	2100
六軒町駐在所	六軒町	2719
運輸省御宿航空標識所	岩和田 789	2654

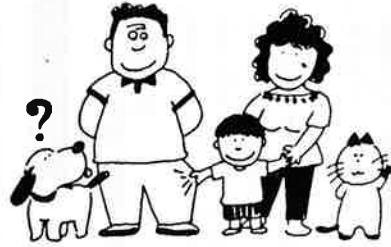
●し尿処理施設

処理計画人口 (人)	8,484	
処理人口 (人)	7,763	
年間総排出量 (ℓ)	4,335	
年間総収集量 (ℓ)		
年間総処理量 (ℓ)	下水道マンホール投入	3,967
	処理施設処理	
	その他	3,967
	計	
処理施設稼働日数	3,967	
収集能力	収集職員数 (人)	365
	収集車輛 (台)	
	バキューム車	4
	運搬車	2
計		
処理能力 (ℓ)	処理場職員数 (人)	2
	施設能力 (ℓ)	
	処理施設	1
	海洋投棄船	12
計		
自家処理量 (ℓ)	下水道放流	12
	し尿浄化そう	
		359
	その他	9
計	368	

御宿町くらしのダイジェスト



人口8,486人
人口密度1km²当り339人



世帯人口
1世帯に3.4人



結婚2日1組



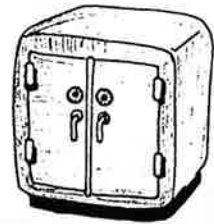
離婚25日に1組



転入1日に0.9人



転出1日に1人



町予算1人につき
143,177円



出生3.5日に1人



死亡3.5日に1人



町民税1人につき
13,549円



窃盗犯10日に1件



交通事故
8.5日に1件

御宿の唄

御宿ブルース

作詩 古谷玲児 / 作曲 八州秀章
唄 すすらん姉妹

一、あだし人魚よ 七尋八尋
姿いとしや 紺がすり

忘れられよか 忘れてなるか
夢の御宿 海女の町 海女の町

二、星の数ほど 寄せては返す

色もとりどり 人の波
光る砂浜 きらめく渚

夢の御宿 海の町 海の町

三、月のあかりに 二人の胸に

乱れ咲く花 月見草
行こか砂丘へ 戻るか宿へ

夢の御宿 恋の町 恋の町

回想譜

作詩 今城靖児 / 編曲 佐伯亮
唄 藤山一郎

一、星みれば はろかに香く

雲みれば つきせぬ想い
去りゆきし 君は詰わねど

御宿の ああ 海の恋しき

二、風吹けば 風もさびしや

虫鳴けば 虫もわびしや
ただひとり 山荘にあれば

堪えがたく ああ 涙ながるる

三、朝には あしたの祈り

夕には ゆうべの願ひ
嫁ぎゆく 妹にのみ

いまはただ ああ 幸をこうのみ

房州御宿音頭

房州 御宿宝の庫よ

ハソリヤ ドウシタ ドウシタ
海に銀鱗 田に黄金
ハソリヤ ヤツサイ

ヤツサイ ドントネ

房州御宿 網代の浜は
銀の砂浜 銀の砂浜 金の浜

潮は黒潮 流れて巻いて
風は汐風 風は汐風 恋の風

あんな男を棍子にもつて
ぬれて苦勞が ぬれて苦勞が
してみた

お前や水底 わしや風の中
つなは一筋 つなは一筋

血が通う

板子一枚といはせぬが
ぬれるお前が ぬれるお前が
いとおしい

房州御宿旅立つ朝は
雨も降らぬに 雨も降らぬに

舟は帆まかせ 帆は風まかせ
わたしやお前の わたしや
袖しぼる

お前の つなまかせ

御宿囃し

作詩 作曲 加藤まさを
編曲 吉野達弥
唄 中里このえ

一、ドンとドンとドンと男波が躍る

躍る男波に抱かれて歌う
女波いとしや月夜の晩は
御宿囃して浮かれ出す

二、山にや名物メキシコタワー

浜の砂丘にや王子と姫が
月の砂漠を揺られて越える
対の駱駝の旅姿

三、磯の華かよ岩和田の海女は

浮いて沈んで浮いて
浪がドンと来りや乳房が揺れる
誰が住むやらあの胸に

四、昼は砂丘に浜昼顔が

夜は砂丘に宵待草が
粹な浜風花から花に
若い二人の燃える頬に

五、椰子の葉蔭で佳い夢見たよ

野暮なトウロク 磯パン無しの
可愛い人魚が蠟燭岩で
忘れちゃおえねえ また来てね

月の砂漠

作詩 加藤まさを
作曲 佐々木すく

一、月の砂漠を はるばると

旅のらくだが 行きました
金と銀との くらおいて
二つならんで 行きました

二、金のくらは 銀のかめ

銀のくらは 金のかめ
二つのかめは それぞれに
ひもでむすんで ありました

三、先のくらは 王子さま

あとのくらは お姫さま
乗ったふたりは おそろいの
白上衣を 着てました

四、広い砂漠を ひとすじに

ふたりはどこへ 行くのでしよう
おぼろにけぶる 月の夜を
ついのらくだは とぼとぼと
砂丘を越えて 行きました
だまって越えて 行きました



永遠のロマン月の沙漠記念像